

オーライ! ニッポン大賞グランプリ

ゆめ ねむら もり こうみんかん
夢の音村「森の公民館」(サウンドファイブ夢の音会) (島根県浜田市)

内閣総理大臣賞



■受賞者の概要

活動年数：47年

活動日数：年間365日

活動エリア：島根県浜田市金城町

活動を担う人数：42人（うち専属スタッフ12人）

参加者数：年間森の公民館等集客利用5,451人うち宿泊986人

■写真の説明

- ・(写真上)1968年以来住民参画のムラの文化交流は47年間継続。
- ・(写真右下)1996年からは、林間交流拠点・森の公民館等整備。
- ・(写真左下)「森の中のマーケット」イベントを開催し2600人を集客。

■受賞の内容

夢の音村「森の公民館」(サウンドファイブ夢の音会)は、1968年から47年間にわたり音楽による地域づくり活動に取り組む町内の音楽活動団体サウンドファイブ夢の音会により誕生した林間交流拠点である。

サウンドファイブ夢の音会の音楽活動は、1968年当時高校生だった現在の会長の河野文影氏等同級生の音楽好きの仲間5人による音楽バンド、ファイブシャドーズが原点。高校を卒業後、地元を中心にライブ活動を続けたものの一度は解散、1972年にサウンドファイブとして再結成。地域のイベントに出演するほか、はしだのりひこさん、坂田明さん、岡林信康さん、森田公一さん等著名なミュージシャンを招く音楽イベントのプロモートも行った。1997年には堀内孝雄さんのコンサートを企画し超満員の大成功をおさめ、地域の皆さんと共に良い音楽を楽しみたいという思いが通じたことに大きく感動し、さらに地域の役に立ちたいという思いを強くした。

このため夢の音会では、農山村地域が抱える様々な課題に対応するため「音楽」をキーワードに青年世代の結集を進め、まちの人が楽しめる交流空間づくりを目指して音楽ホール、スタジオ、キャンプ場などの林間交流拠点の施設整備を1985年から進めてきた。さらに、都市農村交流を行うために「森の公民館」を1995年に整備した。

森の公民館は開館以来20年独立採算での施設運営を行い、平成26年度には「ゆめのねむら」都市農村交流推進協議会を設立、年間利用者約5,400人、宿泊者約1,000人の新たな交流を生み出す取り組みに成長した。また、車で20分の距離にある海辺の民宿や広島市中心地のライブハウスと「施設間協力協定」を締結し誘客や情報発信などの相互補完協力を行うほか、東京都中目黒の小さなお食事処との「食」の研究及び誘客・情報発信における「協力協定」締結など、多方面との交流や連携を進めている。

大型の公演企画・運営にあたっては、200人の実行委員会を組めるネットワークを有し、すべての企画を手づくりで行っている。堀内孝雄さんなど招いた著名人37組に夢の音村『名誉村民』の称号を贈り、市民との交流企画を実施している。「森の公民館」の初代館長に森田公一（作曲家）を登用。以後、佐々木愛（女優）、白井貴子（シンガー）、ボニージャックス（コーラスグループ）、芦原すなお（直木賞作家）の各氏が無報酬で就任。現在は六子（シンガー）に引き継がれている。

これまでに150回を超える自らのステージ活動や40回近いミュージシャンを招くプロモート活動など、町民の文化的要求に応える47年間の音楽活動は、多くの住民の認知を得るとともに高い評価を受けて町の“顔”として定着している。



47年間にわたり、自らのステージ活動や著名なアーティストの講演企画のほか、まちの人が楽しめる交流拠点を整備。音楽をキーワードに、農山漁村の環境や資源を活用しつつ都市との交流等による地域づくりを行っている点が高く評価され、今後、多様なネットワークを活かしたさらなる活動の発展が期待されます。